

第5回河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会

議事要旨

開催日時： 令和3年3月26日(金) 10:00~11:00

開催方法： WEB 会議

出席者： 35市町村長(代理含む)

群馬県 県土整備部長、12土木事務所長、総務部危機管理課危機管理防災係
補佐 等

気象庁前橋地方气象台水害対策気象官

(アドバイザー) 国土交通省関東地方整備局 河川部地域河川課長 等

独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所長 等

【要旨】

1. 開会

2. 挨拶(会長:群馬県県土整備部長)

3. 議事

(1)協議会規約の改定

- ・ 事務局より、資料-1に基づき、協議会委員に利水ダムの管理者である群馬県企業局発電課長を加えることを提案した。
- ・ 各委員とも異論なく、事務局の提案どおり規約の改定案が了承された。

(2)減災のための取組フォローアップ

- ・ 事務局より、資料-2に基づき、これまでの取組状況及び今後の方針について説明を行った。
- ・ 邑楽町の金子町長、千代田町の高橋町長より以下のご発言があった。

【邑楽町 金子町長】

邑楽・館林地域の実情に応じた減災対策を進めていくため、減災対策協議会の地域部会において館林土木事務所と関係市町村が連携し、「内水氾濫リスクマップ」の作成を進めていくことを提案する。

←(事務局)県では、現在「リアルタイム水害リスク情報システム」の開発を進めており、このシステムが運用されれば、豪雨の際に数時間先の浸水範囲の予測を行うことが可能となる。地域部会で「内水氾濫リスクマップ」の議論を行っていく際には、このシステムの内容について詳しくご紹介させていただきたい。

【千代田町 高橋町長】

昨年延期となった「利根川水系総合水防演習」を今年5月15日に開催する予定となっているので、協力をお願いします。

(3) 減災のための新規取組

- ・ 事務局より、資料－3に基づき、新たに協議会として行っていく取組について説明を行った。

4. その他

- ・ 各委員より、以下の通りご発言があった。

【孺恋村 熊川村長】

流域全体で防災・減災対策に取り組んでいくことが重要であり、山間部における中小河川の対策も進めてほしい。

【東吾妻町 中澤町長】

令和元年の台風第19号を経験し、山間部における中小河川の対策をしっかりと行っていくべきと感じた。

【玉村町 石川町長】

現在改修を進めている利根川の河川敷で遺跡が見つかった。堤防整備とあわせ、対応をよろしくをお願いしたい。

【板倉町 栗原町長】

利根川の堤防が決壊するおそれがあるような状況となった場合に避難できる場所が足りないので、町独自の取組として、一時的に避難できる 400ha の高台を整備している。

【明和町 富塚町長】

広域避難が必要となった場合には、県の有する施設を避難場所として活用できるよう調整をお願いしたい。

5. 閉会